

2379

明日は明日の何なかなく

年をとつた人の甲 ねたきりの人もいも

そのように 守りたく無い と思つて来た

それが 与へ と思つたことまを

出まよわざり

若い人 に近いようにと 思つてい

ところか 宛白

年をとると 立つことか 出まよなく 守りまとを

きいた

だとすると

どうも子方 ねたきり になるように

存つて いるのかも しあを

と思ひやめた

身もつて 年よりの 境験を とけは

よかつた

年の川つた時や ようす不あか

今 予さいて いるのは ぼじあへの 境験

わかろなり だろやになつてい

年度の川つた人か きいてみた

松より 年よりの人 いるとい

于下 いふい

于下 かくても 三千人いふい

紅梅 芳

わかう 芳の 芳茶 香きて しかる

もう一度

考て 介の おしと 香きたん

いふい

明日は 身した の 国木 映く

それし かなる

2024
7/2